

# 倉田コミュニティハウス通信

2011年2月号 NO. 51

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

## 1・2・3クラブ 参加者募集

絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、歌の他、毎回、プロの講師の方をお招きして親子音楽会、人形劇、リズム体操などを行います。親子一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。



日時：2011年4月～2012年3月 全5回コース

・ぞうさん組  4月・6月・8月・10月・2月

・きりんさん組 5月・7月・9月・11月・3月 

第1火曜日 11時から45分程度 (5月のみ第2火曜日)

対象：1歳から未就園児の親子 各35組

参加費：1000円(5回分) / 1組の親子

申し込み：2月21日(月)10時から、来館・電話にて受付けます。定員になり次第締め切ります。

3月10日(木)までに参加費用をご持参の上、ご来館下さい。

その際、詳しい予定表を配布いたします。また、参加費用お支払い後、返金はいたしかねますので、ご了承下さい。

2月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(火)	<b>抽選会</b>	午前 10 時から 2011 年 3 月分の抽選会です。	
1(火)	<b>1・2・3 クラブ &amp; フリースペース</b>	1 歳～未就園児向けの子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 12 時から 1 時まで は フリースペースになります。
5・12 19・26 (土)	<b>3時になったら ラジオ体操プラスお茶</b>	0 歳～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100 円です。
5(土)	<b>倉田いりばな子供教室</b>		申し込みは終了しました。
15(火)	<b>0 歳児クラブ</b>	0 歳児向けの子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
15(火)	<b>フリースペース</b>	親子の遊びスペース	午後 2 時から 3 時まで
16(水)	<b>ぴよぴよクラブ</b>	8 ヶ月～1 歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 12 時まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50 円です。
18(金)	<b>サロン上倉田</b>	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10 時から午後 2 時まで
23(水)	<b>上倉田社協食事会</b>	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11 時半から午後 2 時まで
25(金)	<b>ハートぽっぽクラブ</b>	1 歳半～2 歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10 時から午後 12 時 30 分まで 定員 30 組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 100 円です。
28(月)	<b>休館日</b>	全館点検のためお休みいたします。	

# 倉田コミュニティハウス子育て事業報告

倉田コミュニティハウスでは、0歳児クラブ、1・2・3クラブ、全館丸ごとキッズオープンデー等、年齢に応じた子育て事業を行っています。0歳児クラブは、保育士、保健師、歯科衛生士などの専門家をお招きし、一緒に手遊びをしたり、わらべ歌を唄ったり、初めての子育てからくる悩みを相談したり、情報交換したりと盛り沢山のクラブです。初めは横抱きだった赤ちゃん達が、6ヶ月経つとお座りやはいはいが出来るようになります。お母さん達も育児の不安や楽しさを語り合う中で親しくなり、終了後もサークルを作ってお部屋を利用しています。



1・2・3クラブでは月替わりで紙芝居、人形劇、親子音楽会、工作大会、キッズエアロビクスなど、講師をお招きして行っています。キッズオープンデーは縁日を楽しんだり、ピザやクリームパンを作ったりと楽しい事がいっぱいです。いつも定員を超える人気に嬉しい悲鳴をあげています。これからも「コミハっ子」が増えていって欲しいと思っています。



3月のキッズオープンデーは、昨年大好評だった「世界の杉山兄弟のシャボン玉ショー」の再演です。どうぞお楽しみに！！



## スタッフのひと一言

今日からの2日間は女房との2人旅。島田では、街道歩きに入る前に寄り道をして、世界で最も長い木造の蓬莱橋に向かう。大井川に架かるこの橋は、全長897m、幅2.7m。低い欄干なので自然と足は橋の中央を選ぶ。緋（かすり）の着物を着た女の子が「おっかー」と叫びながら駆けている光景が似合いそうな良い橋である。

街道にもどり、日本3大奇祭の一つ、「島田の帯祭り」の奴像がある大井神社を過ぎ、西に進むと、時代劇のセットさながらの街並みに入る。ここが大井川川越（かわこし）遺跡。川越しを管理する川会所、人足が集う番所等（これらは復元）と民家が混在し軒を連ねている。どの家も木造の似た造りなので、復元家屋と民家との区別が付き難い。

江戸時代の大井川は街道最大の難所。川を渡るには、まずは川会所で川札を買う。川札1枚は人足一人の手間賃に相当し、一人肩車のときは川札1枚、輦台(運台)に乗る時は輦台の規模によって川札6枚から最高52枚を払う。川札1枚の値段はというと、川の水位、川幅により異なっている。最低料金が股通（股下の水位）で、最高が脇通（脇までの水位）。脇通より水位が上がると川留め。仮に1文を30円とすると、股通の肩車料金が1440円（48文）。婦人の場合は一人乗りの平輦台に乗らざるを得ないだろうから川札6枚分の8640円掛かることになる。脇通の時はその約2倍の料金になるのだから、高くつく。 < N・I >